

大 学 ★問合先等	学部 (学群・学域)	学科一専攻 (学類)	募集人員		推 薦 条 件				1 推 高 校 人 数 か ら 制 限	選 考 方 法			2023年度入試日程			備 考		2022年度入試結果											
			入 学 定 員	推 薦 定 員	対 象 課 程	現 浪 分	成 績 基 準	特定条件・その他 ※奇数頁上【注】の前提条件に該 当する内容は省略				共 テ ス ト 通	書類・学科(配点・ 時間)・小論文(字数 ・時間)・面接(実施 形態)・その他	出願 期間	選 考 日	合 格 発 表	合否判定評価法、共テ (教科・科目)、新設、そ の他	志願者 数	合 格 者 数	競 争 率									
			入 学 定 員	推 薦 定 員	対 象 課 程	現 浪 分	成 績 基 準																						
名古屋 大学 ★教育推進部入試課 TEL(052)789-5765 〒464-8601 愛知県 名古屋市千種区不 老町D4-4(100)	文		125	15		4.3		学業および人物ともに傑出した者				2	×	1次=書類審査 2次=小論文(120分) ・面接(面接官複数、 個別、約15分→プレゼンテーション<約5分> 含む) (注)小論文→英語の文 章を読み、日本語で論述	11.1 ~ 11.7	<1次> — <2次> 11.25	11.18 12.8	(注)1次では約30名を合格者とする				50	15	3.3					
								<共通テストを課す学校推薦型選抜>				教育	65	10		教育学と心理学に対する勉 学の熱意と意欲を持つ者	2	5-7 5-8 6-7 6-8	1次=書類審査・共通 テスト 2次=小論文・面接	11.17 ~ 1.20	<1次> — <2次> 2.13	2.8 2.14					27	11	2.5
	法		150	45	全	現役	×	特になし					—	5-8 6-8	書類審査・共通テスト ・面接(口頭試問) (注)書類審査・共通テ スト成績により合格者 約30名(面接免除)と 面接選考の受験有資格 者を決定し、後者から 面接により合格者約15 名を決定する				11.17 ~ 1.20	<書類> — <面接> 2.13	2.8 2.14	共テ理→物基・化基・生 基・地基から2科目				108	45	2.4	
								次のような特色を1つ以上 持つ者。(1)個性的、意欲的 で指導力がある者、(2)勉学 に特に秀でている者、(3)課 外活動等で特に成果をあげ ている者				経済	205	40		2	5-7 5-8 6-8	1次=書類審査・共通 テスト 2次=面接 (注)1次では約60名を 合格者とする	1.17 ~ 1.20	<1次> — <2次> 2.13	2.8 2.14					87	40	2.2	
	情報		自然情報	38	8		×	特に情報を活用して人類の 課題へ挑む意欲がある者				各1	5-7 5-8 6-8	1次=書類審査・共通 テスト 2次=面接	1.17 ~ 1.20	<1次> — <2次> 2.12	2.8 2.14	共テ理→物・化・生・地 学から2科目				19	8	2.4					
								人間・社会情報								共テ理→物基・化基・生 基・地基から2科目				27	8	3.4							
								コンピュータ科学								共テ理→物必須、化・生 ・地学から1科目				30	6	5.0							

大 学 ★問合先等	学部 (学群・学域)	学科一専攻 (学類)	募集人員		推 薦 条 件				1 推 高 校 人 数 制 限	選 考 方 法			2023年度入試日程			備 考			2022年度入試結果											
			入 学 定 員	推 薦 定 員	対 象 課 程	現 波 区 分	成 績 基 準	特 定 条 件 ・ そ の 他		書類・学科(配点・時間)・小論文(字数・時間)・面接(実施形態)・その他			出 願 期 間	選 考 日	合 格 発 表	合否判定評価法、共通(教科・科目)、新設、その他	志願者数	合格者数	競争率											
							※寄数真上【注】の前提条件に該当する内容は省略																							
名古屋大学 (続)	理	<共通テストを課す学校推薦型選抜>				全 現役	×	自然界を貫く真理の探究に挑むチャレンジ精神と知的好奇心に満ちあふれ、豊かな創造力を持つ者(本学部のアドミッション・ポリシーも確認)		5-7	書類審査・共通テスト ・面接(口頭試問) (注)書類審査・共通テスト成績により合格者約25名(面接免除)と面接選考の受験有資格者を決定し、後者から面接により合格者約25名を決定する	1.17 ~ 1.20	<書類> — <面接> 2.12	2.8 2.14	共元理→物・化・生・地 学から2科目。ただし物 ・化いずれか必須			122	50	2.4										
		医	270	50	共元理→物・化・生から 2科目 (注)医学科の面接→和文 と英文の課題を設定して 実施										17	12	1.4													
	医	102	12	①				特に医学研究者への志向性 を持つ人材					1.17 ~ 1.20	<1次> — <2次> 2.12	2.8 2.14	共元理→物・化・生から 2科目 (注)医学科の面接→和文 と英文の課題を設定して 実施			56	39	1.4									
		保健－看護学	80					35					特になし					1.17 ~ 1.20	<1次> — <2次> 2.13	2.8 2.14	共元理→物・化・生から 2科目 (注)医学科の面接→和文 と英文の課題を設定して 実施			23	11	2.1				
	工	放射線技術科学	40					10					将来自を見据えた明確な勉学 目的を持つ者 (注)環境土木・建築学科の Pはプログラムを示す (注)推薦定員→電気電子情 報工学科12名のうち6名、 エネルギー理工学科6名の うち3名は女子枠								共元理→物・化指定 (注)環境土木・建築学科 建築学プログラム志望者は 面接にスケッチも含む			25	15	1.7				
		－検査技術科学	40					15					各2					1.17 ~ 1.20	<1次> — <2次> 2.12	2.8 2.14	共元理→物・化指定 (注)環境土木・建築学科 建築学プログラム志望者は 面接にスケッチも含む			17	9	1.9				
	農	－理学療法学	20					7					各2								共元理→物・化指定 (注)環境土木・建築学科 建築学プログラム志望者は 面接にスケッチも含む			7	6	1.2				
		－作業療法学	20					7					2								共元理→物・化指定 (注)環境土木・建築学科 建築学プログラム志望者は 面接にスケッチも含む			5	3	1.7				
	農	化学生命工	99					9					将来を見据えた明確な勉学 目的を持つ者								共元理→物・化指定 (注)環境土木・建築学科 建築学プログラム志望者は 面接にスケッチも含む			7	4	1.8				
		物理工	83					8					4(3)								共元理→物・化指定 (注)環境土木・建築学科 建築学プログラム志望者は 面接にスケッチも含む			15	4	3.8				
	農	マテリアル工	110					11					生物環境科学								共元理→物・化・生・地 学から2科目			16	10	1.6				
		電気電子情報工	118					12(6)					資源生物科学								共元理→物・化・生・地 学から2科目			42	12	3.5				
		機械・航空宇宙工	150					15					応用生命科学								共元理→物・化・生・地 学から2科目			52	15	3.5				
		エネルギー理工	40					6(3)					80								共元理→物・化・生・地 学から2科目									